

## デジタル性犯罪 相談・申告・支援体制

### 教育分野ディープフェイクなど性犯罪被害 申告・支援

道教育庁

(教育部) 教育分野セクハラ・性暴力申告センター  
(道教育庁) セクハラ・性暴力専門申告センター

教育支援庁

・学校で発生した生徒・教員事案に対する調査・  
処理

学校

生徒

- ・担任教師または責任教師に申告
- ・校内様々な申告窓口

教員

- ・性のお悩み相談窓口
- ・ホットライン 1600-8787

### 関係機関性犯罪被害申告・支援

#### ▶117 校内暴力申告センター

- ・(電話) 全国どこからでも 117
- ・(SMS) #1017
- ・(インターネット) 安全Dream(または検索ワード 117)
- ・(訪問) 117センター訪問

#### ▶112 警察庁

- ・サイバー犯罪申告システム(ecrm.police.go.kr)

#### ▶京畿道ジェンダー暴力統合対応団内 京畿道デジタル性犯罪 被害者ワンストップ支援センター

- ・1544-9112 www.majubom.kr

#### ▶放送通信審議委員会 1377→3番

- ・www.kocsc.or.kr デジタル性犯罪申告

#### ▶デジタル性犯罪被害者支援センター 02-735-8994

#### ▶女性緊急電話 1366

## デジタル性犯罪 被害主な類型

### 1. 違法撮影

- ・同意なく人の身体を性的対象として撮影された場合

### 2. 流布

- ・人の身体を性的対象とした映像物が同意なく流布及び再流布さ  
れた場合

### 3. 流布への不安

- ・流布の有無は明確に分からないが性的映像物の流布の可能性で  
不安な場合

### 4. 流布脅迫

- ・性的映像物または複製物を流布すると脅迫される場合

### 5. オンライン内性的いじめ

- ・オンラインで性的内容を含む名誉毀損や侮辱などをされた場合

### 6. アダルトライブチャットのフィッシング詐欺

- ・オンライン上での意思疎通を通じて撮影された、または録画さ  
れた性的映像物を口実に脅迫される場合

### 7. オンライングルーミング

- ・オンラインで知り合い、親しくなった相手に繰り返し性的な会  
話や性的な行為をするように要求される場合

### 8. 違法合成及び盗用

- ・人の身体を性的対象とする編集、合成、加工行為に同意なく写  
真、映像、音声などを利用された場合／人の身体を性的対象と  
する媒体写真、映像、音声などを盗用された場合

자율 균형 미래

生徒・保護者のための

# デジタル 性犯罪

被害対応案内

자율 균형 미래 京畿道教育庁

京畿道ジェンダー暴力統合対応団

## 個別 ワンストップ被害支援

デジタル性犯罪発生時、個別  
被害支援をお受けください！

1544-9112

すべての支援は  
**無料**です！

未成年者の場合、  
**保護者の同意なしでも**  
すべての支援を受けることが  
できます！

(ただし、捜査進行時、捜査機関が法定代理人に該当内容を告知する場  
合があります)

## デジタル性犯罪 [被害当事者] サポート資料

- ✔ 被害の事実について絶対に自分を責めないでください。デジタル性犯罪はほとんどの場合、被害に気づかない状況で発生するため、事前に予防することが困難です。また、誰にでも被害が発生する可能性があるため、自分がもっと注意すべきだったと自分を責めないようにしましょう。
- ✔ 被害の事実を周囲に知らせるかどうかが、捜査機関に届け出るかどうかはすべて本人が決定する権利を持っています。ただし、一人で解決していくのが難しい場合は、周囲または専門機関に助けを求めれば、安全に体系的な支援を受けることができます。
- ✔ デジタル性犯罪被害の発生に気づかなかったり、気づくまでに長い時間がかかることがあります。被害の事実を認識したらすぐに専門支援機関（京畿道ジェンダー暴力統合対応団 ☎1544-9112）に問い合わせ、案内を受けましょう。
- ✔ 性的映像物がオンラインに掲載されている場合、該当映像物(写真・映像・音声など)、オンライン上の会話内容など、証拠となりうる資料は削除せず保管します。該当資料を削除する場合、被害支援（削除及びモニタリング）及び捜査進行に困難が生じることがあります。
- ✔ デジタル性犯罪証拠資料を電子機器から削除した場合、「デジタルフォレンジック」技術を通じて削除されたデータを復元することもできます。私設業者を利用するのは安全ではない可能性があるため、捜査機関に告発及び陳情受付をしてデジタルフォレンジックを進行するようにします。
- ✔ 個人情報が流布された場合、住民登録番号変更制度を利用することができます。児童・青少年性犯罪被害者や性暴力被害者、名誉毀損及び侮辱犯罪の被害者は生命、身体、財産上の被害を受ける恐れがあると認められる場合、住民登録番号の変更が可能です。また、捜査及び公判段階で性暴力被害者の人権保護措置と私生活保護のために仮名を使用することができます。

## デジタル性犯罪被害 自己診断項目

- 01 自分が望んでいないのに、性的な写真・映像・音声などを撮影・録音された。
- 02 自分が望んでいないのに、自分の性的な写真・映像・音声などが収集されたり、約束と違って破棄されなかったり、流布された。
- 03 自分が望んでいないのに、自分の身体・顔を合成した性的な写真と映像などが流布された。
- 04 誰かが私の名前、年齢、写真、電話番号、職業、住所、職場などの個人情報や位置情報を無断で他人に送ったり、オンラインに掲載して性的な侮辱に利用した。
- 05 誰かが私の個人情報を利用したり、なりすまして私についての性的な話をオンラインに広めた。
- 06 自分の個人情報や性的な写真・映像・音声などを持っている人の要求を受け入れたり、機嫌を取ったりしないと、個人情報・性的撮影物を流布したり、直接訪ねて来たりするなど、嫌がらせをされるのではないかと心配だ。
- 07 オンラインで知り合って親しくなった人と会話する時、性的な話題に誘導されたり、性的な撮影物を送るように要求された。
- 08 SNSに性的な文や写真などを載せたら（裏アカ活動など）、誰かが私の行為が犯罪だと言って、通報されたくなければ言われた通りにしろと脅迫した。
- 09 オンラインで出会った人が、自分と会話したことや会話の内容を必ず秘密にするように言った。

- 10 オンラインで出会った人が、会話の内容ややり取りしたファイルを削除するように要求した。
- 11 チャットアプリ、メール、SNS、メッセージング、コメントなどで、性的な文章・写真・動画、性的な会話や売春（援助交際など）の提案を受けた。
- 12 オンラインゲームのチャットや掲示板などで、性的卑語・品評・からかいなどを受けた。
- 13 ローン、仕事、未払いの給料を受け取りたいなら、性的な撮影物（性行為・自慰行為の映像、体の部位など）を送るよう要求された。
- 14 オンラインで知り合った人から、宿泊、食事、タバコ、その他欲しいもの（観相サービス、ゲーム内通貨、アイテム、文化商品券など）を提供する代わりに、性的な撮影物を送るよう、または性行為を要求された。

- 上記チェックリストは、デジタル性犯罪の典型的な被害事例で構成されています。
- ひとつでもチェックが入った場合、すでにデジタル性犯罪の被害に遭っているか、今後犯罪被害につながる可能性が高いです。チェックリストに該当しなくても、デジタル性犯罪の被害だと疑われる経験をしたことがある、または被害に対する危険や不安を感じた場合は、専門支援機関（京畿道ジェンダー暴力統合対応団 ☎1544-9112）にご連絡いただき、相談や被害支援を受けてください。

## デジタル性犯罪 [保護者] サポート資料

- ✔ 被害者を叱責したり非難したりしません。 周りのみんなが被害者の視点から共感と支持ができるようにします。 特にデジタル性犯罪の場合、不特定多数による二次加害が発生する可能性が大きいので、被害が拡大しないように努力することが重要です。
- ✔ デジタル性犯罪被害の発生に気づかなかったり、気づくまでに長い時間がかかることがあります。 周りで被害事実を認知したらすぐに被害者と相談の上、被害者の意思に応じて専門支援機関（京畿道ジェンダー暴力統合対応団 ☎1544-9112）に問い合わせて案内を受けることができるようにします。

